

行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	経済協力開発機構原子力機関 (OECD/NEA) 共同事業参加		<b>担当部局</b>	研究開発局	<b>作成責任者</b>	研究開発戦略官 (核融合・原子力国際協力担当) 片岡洋		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和41年度～		<b>担当課室</b>	研究開発戦略官付 (核融合・原子力国際協力担当)				
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	X-5 原子力分野の研究・開発・利用の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	—		<b>関係する計画、通知等</b>	原子力政策大綱(H17年10月 原子力委員会決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)のデータバンク事業に参加するための分担金を拠出。データバンクは、世界の原子力基礎・基盤のためのデータ整備、利用促進事業の中核センターとして位置付けられ、本事業に参加することにより先進諸国の最新の計算プログラムや評価された実験データを整備されたものとして入手し、利用することが可能であり、我が国の原子力研究開発の基盤整備に資する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	NEAデータバンク事業において、参加国からニーズの高い原子力関係の核データ(原子核反応の起こりやすさを表す断面積や核分裂の際に発生する放射線の種類やエネルギーなどの原子核に関する基本的なデータ)、計算コード(各種の計算や解析に用いるプログラム(ソフトウェア))等の収集・整備・保管等を行う。なお、データバンクから入手したデータは、政府機関のみならず、大学等においても原子炉に関する研究、開発設計等に活用されている。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		修正予算	121	101	94	79	78	
		繰越し等	△ 5	△ 8	△ 11	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額	115	93	83	79	78		
	執行率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、国際機関の事業に参加するための分担金を拠出する事業という性質から、定量的な評価をすることができない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	同上の理由で、記載することは困難。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
						( — )	( — )	
<b>単位当たりコスト</b>	同上の理由で、記載することは困難。		算出根拠	—				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	経済協力開発機構原子力機関分担金	79百万円	78百万円					
	計	79百万円	78百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	我が国の国内機関による利用状況を引き続き確認して、事業の成果を適切に検証するとともに、他国の抛出の動向も踏まえつつ、額の見直しを行った。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）のデータバンク事業に参加するための分担金を抛出する長期継続事業である。</p> <p>2. 所見：20年以上続く長期継続事業であるが、国際機関との関係で必要性が認められる。また、平成21年度レビューの指摘を踏まえ、23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図ったことは評価するものの、引き続き、他国の抛出の動向も踏まえつつ、コスト縮減等に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
我が国の国内機関による利用状況の確認を通じた事業の検証を行うとともに、他国の動向を踏まえたコスト縮減を図ることとし、概算要求に▲0.9百万元反映した。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
—			

文部科学省  
83百万円

〔経済協力開発機構原子力機関に対しデータバンク事業の分担金を拠出。提供されるデータ等を国内の原子力研究開発利用の推進に活用する。〕

【分担金】

A. 経済協力開発機構原子力機関  
支出総額:83百万円

〔参加国からニーズの高い原子力関係の核データ、計算コード等の収集・整備・保管等を行い、参加国へデータの提供を行う。〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単位:  
百万円)

A. 経済協力開発機構原子力機関			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
分担金	参加国からニーズの高い原子力関係の核データ、計算コード等の収集・整備・保管等を行い、参加国へデータの提供を行う。	83			
計		83	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

※拠出金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	経済協力開発機構原子力機関	参加国からニーズの高い原子力関係の核データ、計算コード等の収集・整備・保管等を行い、参加国へデータの提供を行う。	83	-	-